

令和2年度定時総会資料

令和2年6月25日

東三河懇話会

令和2年6月25日（木）15時～
於：ホテルアークリッシュ豊橋

東三河懇話会 令和2年度定時総会次第

- 15:00～15:30 **定時総会** 5階「ザ・グレイス」
議案1. 令和元年度事業報告並びに収支決算報告の件
議案2. 令和2年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件
議案3. 役員改選の件

注1) WEB会議ツール「Zoom」を活用したオンライン閲覧実施

注2) 記念講演会、交流懇親パーティーは中止

議案1. 令和元年度事業報告並びに収支決算報告の件

東三河懇話会

令和元年度事業報告

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

昨年は世界経済が減速する中、内需を中心に緩やかな回復を続けてきた日本経済でしたが、今年に入り、1月に国内で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活と同時に経済活動にも大きな影響が及んだ1年でした。

産学官民交流事業につきましては、月例会として東三河産学官交流サロン、東三河午さん交流会を開催しました。交流サロンでは地元大学の教授の他、地域の首長、国・県の拠点長、若手経営者等に講演いただきました。午さん交流会では地域の歴史や文化、伝統産業から起業まで、幅広いテーマで講演いただきました。8月には浜岡原子力発電所を視察し、発電の仕組み、発電所の取り組みや安全対策などについて勉強しました。

広域連携に向けた取り組みとしましては、地域のインフラ事業説明会、連携をテーマとした講演会や広域での環境活動への取り組みを進めました。具体的には、昨年6月の定時総会終了後の記念講演会において、大村秀章愛知県知事に県全域での取り組みと東三河におけるインフラ整備、プロジェクト等について講演いただきました。東三河地域のインフラ整備事業に関する情報提供・勉強の場として、東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会、三河港関連事業計画等説明会を開催しました。また、東三河生態系ネットワーク協議会の事務局として、地域における生物多様性保全や生態系ネットワーク形成に向けた活動を進めました。今年1月には、新春恒例の東三河8市町村長を囲む新春懇談会を開催し、『成熟化時代の東三河広域連携』をテーマにディスカッションしていただきました。

しかし、こうした交流・広域連携を進める取り組みも新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月に予定した「東三河産学官交流サロン」「東三河午さん交流会」「SDGs特別セミナー」「三遠南信地区地域懇談会」は中止といたしました。

新型コロナウイルスの感染拡大ペースや収束時期は不透明ではありますが、新年度も会員の皆様のニーズを受け止め、新しい時代に即した東三河づくりを進めていくため、地域を繋ぎ、産学官民交流の質の向上を目指してまいります。今後も、会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

(1) 重点戦略事業

- ①東三河の産学官交流・広域連携のサポート、三遠南信地域連携ビジョンの推進

東三河産学官交流サロン、東三河午さん交流会等の事業を通じて、交流の場の提供と地域連携の推進を担う役割を果たしてきた。

(2) 広域連携事業

①国際自動車コンプレックス研究会

第22期目の研究活動を継続している。三河港振興会・自動車港湾委員会と連携をとりながら、自動車産業・港湾整備に関する企業活動・政策の最新動向について研究交流会を開催した。
(詳細後記)

②三遠南信サミット2019 in 南信州

令和元年10月に、長野県飯田市で行われた第27回三遠南信サミットに参加し、三遠南信地域の連携・交流に協力した。

③三河港振興会、豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会、三河港湾関係諸団体の活動に参画、協力した。

(3) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン

11回開催した。地元各大学からの講師のほか、地域で活躍されている経済人などを講師としてお招きして、産学官民の交流連携、情報交換の場を提供した。

(令和2年3月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

(第414回～424回 詳細後記)

②東三河午さん交流会

9回開催した。地域に密着したさまざまな話題をピックアップして、東三河において文化的、芸術的活動を実践・貢献されている方々を紹介した。

(令和2年3月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

(第191回～199回 詳細後記)

③東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の東三河の全市町村長によるパネルディスカッションを実施し、「成熟化時代の東三河広域連携」をメインテーマとして、東三河のこれからの姿の展望について活発な議論が行われた。

(詳細は、会報MIKAWA—NAVI特別号に掲載)

(4) 会員サービス事業

①三河港関連事業整備計画・東三河地区幹線道路整備計画の説明会

令和元年6月に「三河港関連事業計画等説明会」を、また7月には「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」を三河港振興会と共催した。
(詳細後記)

②東三河地域問題セミナー

(公社)東三河地域研究センター主催で3回開催した。(令和2年3月開催予定の地域関連研究発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

(詳細後記)

③広報

会報誌MIKAWA-NAVI(季刊)の発行。新春特別版の発行。
ホームページによる広報。URL <https://www.konwakai.jp>

(5) 会員増強

○新入会

[法人会員] 4口

- ・デジタルバンクジャパン(株)
- ・(有)レガーマ酒商藤城
- ・松井建拓(株)
- ・(株)ナツメ

(敬称略)

運営の部

1. 定時総会・記念講演会

令和元年6月21日（金）15：00～18：00

於：ホテルアークリッシュ豊橋

・議事

議案1. 平成30年度事業報告並びに収支決算報告の件

議案2. 令和元年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件

議案3. 役員変更の件

・記念講演 愛知県知事 大村秀章氏

「“Heart” of JAPANを目指して」

(詳細後記)

2. 理事会

令和元年5月16日（木）11：00～12：00

於：ホテルアークリッシュ豊橋

3. 会員数及び口数の状況

(1) 入会	法人会員	4社	(4口)
退会	法人会員	4社	(4口)
移行	法人から個人	1社	(1口)
減口	特別会員		(1口)

(2) 令和2年3月31日現在会員数

法人会員	150社	(183口)
個人会員	3名	(3口)
特別会員	12団体	(28口)
推薦会員	2名	—

資料（事業の詳細）

1. 国際自動車コンプレックス研究会 活動状況

- (1) 第17回高等学校エコカーレース総合大会（R1. 6. 23 於：ユタカ自動車学校 特設コース）
出走台数：エコハイ A部門 12 台、エコハイ B部門 5 台、オープンクラス部門 27 台
来場者数：約 900 人
- (2) 第 54 回研究交流会（R1. 9. 3 於：豊橋市民センター（カリオンビル）6階多目的ホール）
講 師：国土交通省総合政策局 モビリティサービス推進課 課長補佐 小川洋輔氏
演 題：「日本型 MaaS の実現に向けた今後の取組」
出席者：73 名
- (3) 第 55 回研究交流会（R1. 9. 24 於：豊橋市民センター（カリオンビル）6階多目的ホール）
講 師：中日本高速道路(株) 経営企画本部 経営企画部長 松井保幸氏
演 題：「高速道路における安全・安心の取組と今後の進化の方向性」
出席者：54 名
- (4) 第 56 回研究交流会（R1. 10. 17 於：豊橋商工会議所 4 階 4 0 6 会議室）
講 師：フォルクスワーゲングループジャパン(株) 監査役 菊地啓一氏
演 題：「三河港における自動車輸入ビジネス」
出席者：52 名
- (5) 第21期報告総会・記念講演会（R1. 12. 16 於：豊橋商工会議所 4 階 4 0 6 会議室）
・記念講演会
講 師：国際港湾協会 (IAPH) 事務総長 古市正彦氏
演 題：「最近の世界の港湾動向と三河港について」
出席者：57 名

2. 講演会、懇談会等

- (1) 総会・記念講演会（R1. 6. 21 於：ホテルアークリッシュ豊橋）
講 師：愛知県知事 大村秀章氏
演 題：「“H e a r t” o f J A P A N を目指して」
出席者：総会 139 名、講演会 153 名、懇親会 129 名
- (2) 令和元年度 三河港関連事業計画等説明会 [三河港振興会と共催]
（R1. 6. 11 13:30～15:00 於：ライフポートとよはし 中ホール）
講 師：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 所長 山口隼人氏
愛知県 三河港務所 所長 浅井仁司氏
愛知県 三河港工事事務所 所長 狩谷伸一氏
参加者：120 名

(3) 令和元年度 東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会 [三河港振興会と共催]

(R1. 7. 1 14:00~15:30 於：ライフポートとよはし 中ホール)

講 師：国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 所長 永田耕之氏
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 所長 田中里佳氏
愛知県 東三河建設事務所 所長 川上晃一郎氏
愛知県 新城設楽建設事務所 所長 丹羽康博氏

参加者：150名

(4) (公社)東三河地域研究センター 総会記念講演会

・通常総会 (R1. 11. 28 15:15~18:00 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

演 題：「フューチャーデザインの可能性～将来世代を考えた広域的な地域づくりに向けて～」

講 師：(公財)東京財団政策研究所 研究主幹／慶應義塾大学経済学部客員教授
小林慶一郎氏

参加者：109名

★三遠地区地域懇談会 [中部経済同友会、浜松経済同友会と共催]

(R2. 3. 13 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

3. 東三河産学官交流サロン (公社)東三河地域研究センターと共催

(年11回、18:00~20:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

第414回 H31. 4. 16 参加者74名

・内蒙古大学 学長 陳 国慶氏

「内蒙古大学における地域経済社会発展への協働及び実践」

第415回 R1. 5. 15 参加者81名

・豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 講師 水谷晃啓氏

「ものづくりとまち・ひとづくり～地方創生・地域連携と研究教育活動～」

・(株)タスキ 代表取締役CEO 種田憲人氏

「東三河での移住・起業・スケールアップのリアル～元気な若者の取り扱い提案～」

第416回 R1. 6. 25 参加者98名

・日本銀行名古屋支店 支店長 清水季子氏

「最近の金融経済情勢と今後の展望」

第417回 R1. 7. 24 参加者76名

・豊橋創造大学 短期大学部 幼児教育・保育科 准教授 加藤克俊氏

「地域と大学をつなぐ子どもたちのアート」

・豊根村 村長 伊藤 実氏

「『愛知のてっぺん』豊根村の森づくり」

第418回 R1. 8. 21 参加者84名

・豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 柴田隆行氏

- 「マイクロ流体チップテクノロジーが拓く新産業創出～遺伝子情報を“診る”“操る”～」
- ・田原市 市長 山下政良氏
「渥美半島を元気に！」

第 419 回 R1.9.18 参加者 89 名

- ・愛知大学 経済学部 教授 打田委千弘氏
「愛知県における事業承継－豊橋信用金庫との共同アンケート調査から－」
- ・東栄町 町長 村上孝治氏
「東栄町の今後のまちづくり」

第 420 回 R1.10.16 参加者 82 名

- ・豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 滝川浩史氏
「プラズマの恩恵」
- ・(有)エニシング 代表取締役社長 西村和弘氏
「豊橋帆前掛けの未来～令和初の繊維工場オープンまでの道のり～」

第 421 回 R1.11.20 参加者 73 名

- ・愛知工科大学 工学部 電子制御・ロボット工学科 准教授 溝尻太一氏
「柔と剛を併せ持つしなやかなモーションコントロール技術の開発」
- ・国土交通省 中部地方整備局 設楽ダム工事事務所 事務所長 須賀正志氏
「ダムの基礎知識と設楽ダムの最近の取り組みについて」

第 422 回 R1.12.25 参加者 80 名

- ・愛知大学 経営学部 教授 岩田員典氏
「AI と災害救助シミュレーション」
- ・(株)渥美フーズ 代表取締役社長 渡会一仁氏
「ゼロ・ウェイスト、脱プラスチックを目指した 21 世紀型店舗」

第 423 回 R2.1.22 参加者 81 名

- ・豊橋技術科学大学 副学長／情報・知能工学系 教授 三浦 純氏
「ロボットの眼を創る：最新動向と産業応用」
- ・愛知県 副知事 加藤慎也氏
「東三河県庁と東三河振興の取組」

第 424 回 R2.2.19 参加者 104 名

- ・愛知大学 文学部 教授 吉野さつき氏
「芸術と社会包摂～『障害者アート』から考える」
- ・豊川市 市長 竹本幸夫氏
「元気なとよかわ 子育てにやさしく 人が集うまち」

★第 425 回 R2.3.18

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

4. 東三河午さん交流会 (公社)東三河地域研究センターと共催

(年9回、5、1月を除く毎月第1金曜日を原則 11:30~13:00)

第191回 H31.4.5 参加者40名

- ・田原市教育委員会・共育コーディネーター 藤城信幸氏
「渥美半島 地形・地質とくらし」

第192回 R1.6.7 参加者45名

- ・武蔵精密工業(株) MUSASHi Innovation Lab CLUE 鈴木隆文氏
「東三河の未来づくり~CLUEの設立理由~」

第193回 R1.7.5 参加者40名

- ・豊橋市美術博物館 学芸員 久住祐一郎氏
「古文書から見る三河吉田藩」

第194回 R1.8.2 参加者37名

- ・林養魚(株) 代表取締役 林 邦康氏
「循環濾過養殖システム (RAS) とは」

第195回 R1.9.6 参加者48名

- ・映画コレクションしねとろ倶楽部 主宰/とよはしまちなかスロータウン映画祭実行委員会 顧問 佐々木順一郎氏
「まちなか映画館~あの日あの時~」

第196回 R1.10.4 参加者48名

- ・(株)ミスコンシャス 代表取締役社長 小山絵実氏
「起業からたった4年で業界最大級のサービスをつくりあげた理由」

第197回 R1.11.1 参加者36名

- ・豊橋筆 川合毛筆 中西由季氏
「これからの若手職人」

第198回 R1.12.6 参加者37名

- ・鳳来寺山自然科学博物館 館長 加藤貞亨氏
「鳳来寺山とその周辺の自然と大地の魅力」

第199回 R2.2.7 参加者35名

- ・豊橋市二川宿本陣資料館 館長 平井康博氏
「旧東海道二川宿の魅力について」

★第200回 R2.3.9

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

5. 令和2年 東三河8市町村長を囲む新春懇談会

(R2.1.9 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

テーマ：「成熟化時代の東三河広域連携」

内 容：東三河8市町村長によるパネルディスカッション

パネリスト

豊橋市長	佐原光一氏
豊川市長	竹本幸夫氏
蒲郡市長	鈴木寿明氏
新城市長	穂積亮次氏
田原市長	山下政良氏
設楽町長	横山光明氏
東栄町長	村上孝治氏
豊根村長	伊藤 実氏

コーディネーター

豊橋技術科学大学 学長 大西 隆氏

参加者：294名

6. 東三河地域問題セミナー (主催：(公社)東三河地域研究センター)

(1) 第2回公開講座(R1.5.29 於：豊橋市民センター(カリオンビル)6階 多目的ホール)

演 題：「北海道の被害地震から学ぶー1611年慶長三陸地震～2018年北海道胆振東部地震」

講 師：北海道大学 名誉教授 鏡味洋史氏

参加者：42名

(2) 第3回公開講座(R1.8.27 於：豊橋市民センター(カリオンビル)6階 多目的ホール)

演題1：「これからの外国人受入れを考える～改正入管法施行後の“総合的対応策”～」

講 師：特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井佳彦氏

演題2：「地域密着型日本語教室の過去・現在・そして明日へ～外国人労働者も「ひと」。人として繋がることで目指す多文化共生とは～」

講 師：特定非営利活動法人フロンティアとよはし 理事長 河村八千子氏

参加者：33名

(3) 第4回公開講座(R1.9.26 於：豊橋市民センター(カリオンビル)6階 多目的ホール)

演 題：「いま自転車が熱い！～サイクルツーリズムによる地方の活性化～」

講 師：特定非営利活動法人地域づくりサポートネット 代表理事 山内秀彦氏

参加者：32名

★7. 東三河地域関連研究発表会 R2.3.19 (主催：(公社)東三河地域研究センター)

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

8. 各種団体、調査委員会等への参加、協力

- (1) (一社) 中部経済連合会
- (2) (公財) 中部圏社会経済研究所
- (3) (一財) 東海産業技術振興財団
- (4) (一社) 奥三河ビジョンフォーラム
- (5) 愛知県港湾協会
- (6) 三河港振興会
- (7) 豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会
- (8) 伊勢湾再生海域検討会
- (9) 東三河生態系ネットワーク協議会
- (10) (NPO) 穂の国森づくりの会
- (11) (NPO) 朝倉川育水フォーラム
- (12) 東三河流域フォーラム
- (13) 一般国道151号改良促進期成同盟会
- (14) 豊橋みなとフェスティバル実行委員会
- (15) (一社) 豊橋観光コンベンション協会
- (16) (公財) 豊橋市国際交流協会
- (17) (公財) 豊橋文化振興財団
- (18) 豊橋日独協会
- (19) とよはし市電を愛する会
- (20) 豊橋市民愛市憲章推進協議会
- (21) 530運動環境協議会
- (22) 愛知県地球温暖化防止活動推進センター

令和元年度
収 支 決 算 書
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

<u>収入決算額</u>	<u>34,284,302円</u>
<u>支出決算額</u>	<u>32,326,492円</u>
<u>差引残高</u>	<u>1,957,810円</u>

《 収 入 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 会費収入	24,702,000	24,513,000	△ 189,000	99.2%	
1) 法人会費	22,080,000	21,930,000	△ 150,000	99.3%	
2) 個人会費	360,000	360,000	0	100.0%	
3) 特別会費	2,262,000	2,223,000	△ 39,000	98.3%	
2. 事業収入	6,430,000	5,892,197	△ 537,803	91.6%	
1) 産学官交流サロン	4,120,000	3,481,914	△ 638,086	84.5%	
2) 午さん交流会	1,360,000	1,252,283	△ 107,717	92.1%	
3) 新春懇談会	950,000	1,158,000	208,000	121.9%	
4) その他の事業	0	0	0	0.0%	
3. その他の収入	1,900,500	1,960,081	59,581	103.1%	
1) 特定預金取崩収入	0	0	0	0.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
2) 雑収入	1,900,500	1,960,081	59,581	103.1%	
① 受取利息	500	81	△ 419	16.2%	
② 雑収入	1,900,000	1,960,000	60,000	103.2%	
当期収入合計	33,032,500	32,365,278	△ 667,222	98.0%	(A)
前期繰越収支差額	1,919,024	1,919,024	0	100.0%	
収入合計	34,951,524	34,284,302	△ 667,222	98.1%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 運営事業費	2,117,000	2,008,277	△ 108,723	94.9%	
1) 総会・理事会費	750,000	810,474	60,474	108.1%	
2) 広報費	1,167,000	1,166,585	△ 415	100.0%	会報誌発行・郵送等
3) 講演・説明会費	200,000	31,218	△ 168,782	15.6%	
2. 事業費	6,285,000	5,899,272	△ 385,728	93.9%	
1) 産学官交流サロン	4,020,000	3,618,966	△ 401,034	90.0%	
2) 午さん交流会	1,315,000	1,205,671	△ 109,329	91.7%	
3) 新春懇談会	950,000	1,074,635	124,635	113.1%	
4) その他の事業	0	0	0	0.0%	
3. 調査・研究費	11,744,000	11,524,025	△ 219,975	98.1%	
1) 調査・研究費	8,234,000	8,171,000	△ 63,000	99.2%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,510,000	3,353,025	△ 156,975	95.5%	
4. 管理費	12,803,000	12,588,653	△ 214,347	98.3%	
1) 給料手当	5,880,000	5,901,953	21,953	100.4%	
2) 福利厚生費	1,170,000	1,136,031	△ 33,969	97.1%	
① 福利厚生費	230,000	163,879	△ 66,121	71.3%	
② 法定福利費	940,000	972,152	32,152	103.4%	
3) 会議費	10,000	6,480	△ 3,520	64.8%	
4) 旅費交通費	204,000	209,630	5,630	102.8%	
5) 通信運搬費	572,000	564,530	△ 7,470	98.7%	通信機器リース料含む
6) 消耗品費	912,000	837,691	△ 74,309	91.9%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	912,000	837,691	△ 74,309	91.9%	OA機器リース料含む
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	150,000	114,858	△ 35,142	76.6%	総会資料・会員名簿等
9) 新聞・図書費	198,500	252,232	53,732	127.1%	
10) 水道光熱費	301,500	230,162	△ 71,338	76.3%	
11) 賃借料	2,931,000	2,929,920	△ 1,080	100.0%	事務所賃借料
12) 交際費	60,000	11,985	△ 48,015	20.0%	
13) 諸会費	354,000	354,000	0	100.0%	他団体の年会費等
14) 雑費	60,000	39,181	△ 20,819	65.3%	
5. その他の支出	56,265	306,265	250,000	544.3%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	56,265	306,265	250,000	544.3%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	0	100.0%	
② 財政調整引当預金	0	250,000	250,000	0.0%	
当期支出合計	33,005,265	32,326,492	△ 678,773	97.9%	(C)
当期収支差額	27,235	38,786	11,551		(A) - (C)
次期繰越収支差額	1,946,259	1,957,810	11,551		(B) - (C)

貸借対照表
令和2年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(1)現金	3,925		
(2)預金	2,971,391		
(3)未収入金	46,118		
(4)前払金	246,400		
流動資産合計		3,267,834	
2. 固定資産			
(1)設備什器備品	295,396		
(2)電話加入権	213,000		
(3)敷金	2,688,000		
(4)減価償却引当特定預金	2,526,809		
(5)事務所移転費用積立預金	200,000		
(6)財政調整引当預金	250,000		
固定資産合計		6,173,205	
資産合計			9,441,039
II. 負債の部			
1. 流動負債			
(1)未払金	481,285		
(2)預り金	579,882		
流動負債合計		1,061,167	
負債合計			1,061,167
III. 正味財産の部			
正味財産			
(うち当期正味財産減少額)			(2,611,968)
負債及び正味財産合計			9,441,039

正味財産増減計算書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額	38,786	
減価償却引当特定預金増加額	56,265	
財政調整引当預金増加額	250,000	
資産増加額計		345,051
2. 負債減少額		
負債減少額	0	0
増加額合計		345,051
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
什器備品減価償却額	56,265	
設立50周年関連費用減少額	2,900,754	
資産減少額計		2,957,019
2. 負債増加額		
負債増加額	0	0
減少額合計		2,957,019
当期正味財産減少額		2,611,968
前期繰越正味財産額		10,991,840
期末正味財産合計額		8,379,872

<参 考>

国際自動車コンプレックス研究会 第21期収支決算書

(自 平成30年10月1日 至 令和元年9月30日)

収入の部 (単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
会費収入	1,320,000	1,290,000	-30,000	98%	
研究交流会収入	0	0	0	0%	
事業収入	100,000	51,000	-49,000	51%	
雑収入	63	5	-58	8%	
当期収入合計	1,420,063	1,341,005	-79,058	94%	
前期繰越収支差額	58,237	58,237	0	100%	
収入合計	1,478,300	1,399,242	-79,058	95%	

支出の部 (単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
総会費	150,000	96,284	-53,716	64%	
研究交流会費	300,000	73,776	-226,224	25%	
事業費	480,000	417,090	-62,910	87%	
運営費	500,000	500,000	0	100%	
予備費	48,300	0	-48,300	0%	
当期支出合計	1,478,300	1,087,150	-391,150	74%	
次期繰越収支差額	0	312,092	312,092	0%	

監 査 報 告 書

東 三 河 懇 話 会
会 長 吉 川 一 弘 殿

東三河懇話会の、令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその他の計算書類、関係帳簿を監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和2年5月15日

東 三 河 懇 話 会

監 事 豊橋信用金庫 専務理事

市 川 智 嗣



監 事 (株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長

郷 武



監 事 中部電力パワーグリッド(株) 豊橋営業所長

牧 眞 司



議 案 2. 令和 2 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件

東三河懇話会

令和 2 年度事業計画（案）

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

1. 基本方針

令和 2 年 1 月から国内で発生した新型コロナウイルスは、私たちの生活と同時に経済活動にも大きな影響を与えており、その収束は長期化の様相を呈しています。東三河地域も例外ではなく、飲食業やホテル業のみならず、自動車産業にも大きな影響を及ぼしています。

このような中、我が国の人口減少や高齢化は着実に進んでおり、高齢者人口は 2040 年頃にピークとなると推測され、こうした社会変容は過疎地のみならず都市部でも着実に進展し、しかも偏在化することによって、地域づくりの進め方も大きく変わっていくことが考えられます。一方、ICT 等のイノベーションは着実に進んでおり、今後サービスが開始される 5G 等により、IoT や AI 等の利用領域が一層広がり、これまで難しかった地域社会課題の解決において、新しい光が見えてくることが期待されています。

こうした社会情勢は、地域の社会・経済のリスク管理に大きな課題を提議していますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、働き方（テレワーク等）や医療の仕組み（オンライン診療等）等では、新しい取り組みが加速的に進展しています。このように我が国が、そして地域が危機的な状況にある今だからこそ、広域での多様なセクターの連携により、様々な地域リスクを最小化し、暮らしやすさや幸福感を感じられる地域づくりを進めていく転機であるとも言えます。

今年度は、こうした背景を踏まえ、「with コロナ」を前提とした産学官民交流事業の運営と双方向コミュニケーションの促進、東三河の将来を見据えた広域連携事業の開拓、ホームページ等を活用した情報発信力の強化と会員サービスの充実、東三河の将来の地域づくりを睨んだ新しいネットワークづくりなどについて、試験的な取り組みを行いながら、未来を志向する「東三河懇話会」としてスタートいたします。

変化が激しく先を見通せない状況が続いておりますが、会員の皆さまとの結束力を更に高めながら、この東三河が、地域内外の方々から住みたい、訪れたい、学びたい、働きたいと感じていただける「生活の都」となるよう努力いたす所存です。

2. 事業計画

(1) 産学官民交流事業

① 東三河産学官交流サロン（12回／年）

産学官民の交流連携、情報交換の場を提供。東三河の産学官民の講師や外部講師を招聘し、会員にとって「知」の場となるタイムリーな情報を発信する。また、意見交換や質疑応答を取り入れた双方向のコミュニケーションの促進を図る。

②東三河午さん交流会（10回／年）

地域に密着したさまざまな話題をピックアップ。主に、東三河において社会活動や文化芸術活動を実践し、地域づくりに貢献されている方々を紹介し、地域への情報発信を行う。

③視察会

経済社会環境の変化や、東三河において話題となっている地域テーマを選定し、東三河地域の持続的な発展や、広域的な連携の参考となる場所、施設等の視察会を開催する。

（2）広域連携事業

①東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業。東三河地域における共通の課題・テーマに関する東三河8市町村長参加のパネルディスカッションにより、東三河のこれからの姿を展望するとともに、会員をはじめ地域住民に広く情報発信する。

②国際自動車コンプレックス研究会の新展開

三河港振興会・自動車港湾委員会と連携をとりながら研究活動を計画。三河港の持続的発展のための自動車の流通、リサイクル、コンベンション化等の推進に加え、自動運転の実証実験の推進、背後圏との連携によるインフラ整備、戦略的な港湾経営につながる研究交流会、シンポジウム、視察会等を開催する。

また、港を核とした都市圏づくりをイメージする会の名称への変更を検討する。

③東三河生態系ネットワーク協議会

東三河生態系ネットワーク協議会の事務局として、SDGs（持続可能な開発目標）の目標である「14.海の豊かさを守ろう」「15.陸の豊かさも守ろう」を中心に活動を展開し、自然とのふれあい体験事業や生態系フォーラムを開催するとともに、協議会加入団体の活動への支援・協力を実施する。

④地域インフラ事業の説明会

「三河港関連事業整備計画等説明会」、「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」等を主催し、東三河地域で進むインフラ等の計画・進捗状況について、関係機関と連携しながら会員等に情報発信する。

⑤各種団体との連携・協力

（一社）中部経済連合会、（一社）奥三河ビジョンフォーラム、三河港振興会、（一社）豊橋観光コンベンション協会等との連携・協力により、会員交流や産学官民連携に向けた取り組みを推進する。

(3) 会員サービス事業

①広報活動の一層の推進

会報誌「MIKAWA—NAVI」（季刊、紙 & 電子媒体）を発行する。

また、東三河の地域づくりに関わる自治体や経済団体等が実施・計画している情報、並びに新聞やニュース等で取り上げられた情報を収集・整理し、本会ホームページでタイムリーに情報発信する。 URL <https://www.konwakai.jp>

②会員意見の収集と運営への活用

会員へのヒアリング調査を実施することで、地域づくりや当会の活動等に関するニーズを把握し、事業運営に活用する。

③会員サービスの質的向上

(公社)東三河地域研究センターとの情報共有と連携強化を図り、同センターが保有するシンクタンク機能を活用し、会員にとって有益な産学官民交流および広域連携事業の充実を図る。

④「東三河地域問題セミナー」の支援

東三河の現状と将来を考え、地域をリードする人材育成のための基礎的、専門的な知識を得る場として、(公社)東三河地域研究センターが主催する当該セミナーを会員内外に広く周知し、動員を図る。

(4) 新しいネットワークづくりへの取り組み

東三河地域の次世代を担う産学官民の若手を対象としたグループづくりを進め、東三河地域の将来の課題や関心の高いテーマ、場の構成や進め方などの検討を行う。また、若手経営者等による講演会等を通して、意見交換を行う新しい場の創出を図る。

(5) 会員増強

東三河の産学官交流の場としてのコミュニケーションセンター機能を充実させ、会員相互の交流による地域連携の有益性を訴求し、広く地域の方々に提議する。併せて、商工会議所、商工会の会員企業等で、当会に未加入の企業に対する勧誘活動を推進するなど、会員の増強を図る。

令和2年度
収 支 予 算 (案)
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

《 収 入 の 部 》

(単 位 : 円)

科 目	令和2年度	令和元年度	令和元年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 会費収入	24,600,000	24,513,000	24,702,000	99.6%	
1) 法人会費	22,020,000	21,930,000	22,080,000	99.7%	183口
2) 個人会費	240,000	360,000	360,000	66.7%	2口
3) 特別会費	2,340,000	2,223,000	2,262,000	103.4%	30口
2. 事業収入	5,358,000	5,892,197	6,430,000	83.3%	
1) 産学官交流サロン	2,950,000	3,481,914	4,120,000	71.6%	
2) 午さん交流会	1,208,000	1,252,283	1,360,000	88.8%	
3) 新春懇談会	1,200,000	1,158,000	950,000	126.3%	
4) その他の事業	0	0	0	0.0%	
3. その他の収入	1,950,500	1,960,081	1,900,500	102.6%	
1) 特定預金取崩収入	50,000	0	0	0.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
② 財政調整引当預金	50,000	0	0	0.0%	
2) 雑収入	1,900,500	1,960,081	1,900,500	100.0%	
① 受取利息	500	81	500	100.0%	
② 雑収入	1,900,000	1,960,000	1,900,000	100.0%	
当期収入合計	31,908,500	32,365,278	33,032,500	96.6%	(A)
前期繰越収支差額	1,957,810	1,919,024	1,919,024	102.0%	
収入合計	33,866,310	34,284,302	34,951,524	96.9%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	令和2年度	令和元年度	令和元年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 運営事業費	1,880,000	2,008,277	2,117,000	88.8%	
1) 総会・理事会費	500,000	810,474	750,000	66.7%	
2) 広報費	1,180,000	1,166,585	1,167,000	101.1%	
3) 講演・説明会費	200,000	31,218	200,000	100.0%	
2. 事業費	5,270,000	5,899,272	6,285,000	83.9%	
1) 産学官交流サロン	2,880,000	3,618,966	4,020,000	71.6%	
2) 午さん交流会	1,040,000	1,205,671	1,315,000	79.1%	
3) 新春懇談会	1,050,000	1,074,635	950,000	110.5%	
4) その他の事業	300,000	0	0	0.0%	
3. 調査・研究費	11,710,000	11,524,025	11,744,000	99.7%	
1) 調査・研究費	8,200,000	8,171,000	8,234,000	99.6%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,510,000	3,353,025	3,510,000	100.0%	
4. 管理費	12,963,000	12,588,653	12,803,000	101.2%	
1) 給料手当	5,946,000	5,901,953	5,880,000	101.1%	
2) 福利厚生費	1,283,000	1,136,031	1,170,000	109.7%	
① 福利厚生費	230,000	163,879	230,000	100.0%	
② 法定福利費	1,053,000	972,152	940,000	112.0%	
3) 会議費	10,000	6,480	10,000	100.0%	
4) 旅費交通費	204,000	209,630	204,000	100.0%	
5) 通信運搬費	573,000	564,530	572,000	100.2%	
6) 消耗品費	966,000	837,691	912,000	105.9%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	966,000	837,691	912,000	105.9%	
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	120,000	114,858	150,000	80.0%	
9) 新聞・図書費	172,000	252,232	198,500	86.6%	
10) 水道光熱費	257,000	230,162	301,500	85.2%	
11) 賃借料	2,958,000	2,929,920	2,931,000	100.9%	
12) 交際費	60,000	11,985	60,000	100.0%	
13) 諸会費	354,000	354,000	354,000	100.0%	
14) 雑費	60,000	39,181	60,000	100.0%	
5. その他の支出	56,265	306,265	56,265	100.0%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	56,265	306,265	56,265	100.0%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	56,265	100.0%	
② 財政調整引当預金	0	250,000	0	0.0%	
当期支出合計	31,879,265	32,326,492	33,005,265	96.6%	(C)
当期収支差額	29,235	38,786	27,235		(A) - (C)
次期繰越収支差額	1,987,045	1,957,810	1,946,259		(B) - (C)

<参 考>

国際自動車コンプレックス研究会 第22期収支予算

(自 令和元年10月1日 至 令和2年9月30日)

収入の部

(単位:円)

科目	第22期予算	第21期予算	第21期決算	備考
会費収入	1,290,000	1,320,000	1,290,000	
研究交流会収入	0	0	0	
事業収入	100,000	100,000	51,000	
雑収入	8	63	5	
当期収入合計	1,390,008	1,420,063	1,341,005	
前期繰越収支差額	312,092	58,237	58,237	
収入合計	1,702,100	1,478,300	1,399,242	

支出の部

(単位:円)

科目	第22期予算	第21期予算	第21期決算	備考
総会費	150,000	150,000	96,284	
研究交流会費	400,000	300,000	73,776	
事業費	600,000	480,000	417,090	
運営費	500,000	500,000	500,000	
予備費	52,100	48,300	0	
当期支出合計	1,702,100	1,478,300	1,087,150	
次期繰越収支差額	0	0	312,092	

議 案 3. 役員改選の件

役 職	退 任	就 任
会 長	豊橋信用金庫 会長 吉川 一弘	(株)サーラコーポレーション代表取締役社長 兼グループ代表CEO 神野 吾郎
副会長	(株)サーラコーポレーション代表取締役社長 兼グループ代表CEO 神野 吾郎	
同	本多プラス(株)会長 本多 克弘	
同	サーラエナジー(株)相談役 中村 捷二	
同		イノチオホールディングス(株)代表取締役社長 石黒 功
同		ヤマサちくわ(株)代表取締役社長 佐藤 元英
同		(株)田村組 代表取締役社長 田村 太一
専任理事	伊藤 恵祐	福田 裕之
常任理事		オーエスジー(株)代表取締役社長 兼CEO 石川 則男
同		壽鑛業(株)代表取締役会長 河合 利則
同		サーラエナジー(株)代表取締役社長 鳥居 裕
同	鈴与(株)豊橋支店長 秋山 博則	鈴与(株)豊橋支店長 永田 智大
同	中部電力(株)執行役員岡崎支店長 岡本 祥一	中部電力パワーグリッド(株)岡崎支社長 桑原 靖和
同	日東電工(株)豊橋事業所長 中野 正則	日東電工(株)豊橋事業所長 井田 太

役 職	退 任	就 任
常任理事	(株)ほの国百貨店 代表取締役社長 林 恭吾	
同		丸利建設(株)代表取締役 権田 知宏
同	ヤマサちくわ(株)代表取締役社長 佐藤 元英	
理 事	アオキトランス(株)取締役社長 遠藤 修	アオキトランス(株)取締役社長 小島 泰樹
同	(株)サーラホテル&レストランズ代表取締役社長 宮川 直樹	(株)サーラホテル&レストランズ取締役 梅岡 浩昭
同	(株)清水銀行 代表取締役頭取 豊島 勝一郎	(株)清水銀行 代表取締役頭取 岩山 靖宏
同	(株)総合開発機構 専務取締役 今泉 悟	(株)総合開発機構 専務取締役 伊藤 信一
同	大成建設(株)専務執行役員名古屋支店長 近藤 昭一	大成建設(株)常務執行役員名古屋支店長 平田 尚久
同	(株)中部 取締役会長 石原 裕	(株)中部 代表取締役社長 樽林 孝尚
同	中部電力(株)顧問 川口 文夫	
同	東海CS(株)代表取締役社長 富田 茂充	東海CS(株)代表取締役社長 田中 猛
同	(株)トーネック 岡崎支店営業部部長 伊藤 芳幸	(株)トーネック 豊橋営業所長 岡本 正二
同		本多プラス(株)会長 本多 克弘
監 事	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長 魚谷 哲	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長 郷 武
相談役		豊橋信用金庫 会長 吉川 一弘

令和2年度 東三河懇話会役員名簿（案）

※太字は変更部分を示す

会 長	(株)サーラコーポレーション 代表取締役社長兼グループ代表CEO	神野吾郎
副会長	(株)トヨタテック 代表取締役社長	小野喜明
同	小池商事(株) 代表取締役社長	小池高弘
同	イノチオホールディングス(株) 代表取締役社長	石黒 功
同	ヤマサちくわ(株) 代表取締役社長	佐藤元英
同	(株)田村組 代表取締役社長	田村太一
専任理事		福田裕之
常任理事	(株)アイゼロ 代表取締役社長	牧野 渉
同	オーエスジー(株) 代表取締役社長兼CEO	石川則男
同	(株)オノコム 代表取締役会長	小野喬四朗
同	蒲郡信用金庫 理事長	竹田知史
同	壽鑛業(株) 代表取締役会長	河合利則
同	サーラエナジー(株) 代表取締役社長	鳥居 裕
同	新東工業(株) 常務取締役	久野恒靖
同	鈴与(株) 豊橋支店長	永田智大
同	(株)総合開発機構 代表取締役社長	小林宏之
同	総合ポートサービス(株) 代表取締役社長	柴田忠男
同	(株)大三コーポレーション 取締役会長	松井英治郎
同	中部電力パワーグリッド(株) 岡崎支社長	桑原靖和
同	(株)デンソー 豊橋製作所長・豊橋東製作所長	古海盛昭
同	トピー工業(株) 豊橋製造所長	竹内征規
同	豊川信用金庫 理事長	半田富男
同	トヨタ自動車(株) 常務理事田原工場長	伊村隆博
同	豊橋鉄道(株) 代表取締役社長	伊藤正雄
同	豊橋三菱ふそう自動車販売(株) 代表取締役社長	鈴木伊能勢
同	名古屋鉄道(株) 取締役専務執行役員不動産事業本部長	高崎裕樹
同	西島(株) 代表取締役社長	西島 豊
同	西日本電信電話(株)東海事業本部ビジネス営業部東三河営業支店長	北村光春
同	日東電工(株) 豊橋事業所長	井田 太
同	フォルクスワーゲングループジャパン(株) 監査役	菊地啓一
同	丸利建設(株) 代表取締役	権田知宏
同	三菱ケミカル(株) 理事役愛知事業所長	八木貞輝
理 事	アオキトランス(株) 取締役社長	小島泰樹
同	岡崎信用金庫 理事長	田中秀明

理事	鹿島建設(株) 常務執行役員中部支店長	片山 豊
同	川北電気工業(株) 代表取締役社長	大津正己
同	(株)サーラホテル&レストランズ 取締役	梅岡浩昭
同	(株)静岡銀行 豊橋支店長	飯田昌弘
同	(株)清水銀行 代表取締役頭取	岩山靖宏
同	鈴与(株) 取締役会長	鈴木與平
同	(株)総合開発機構 専務取締役	伊藤信一
同	総合埠頭(株) 代表取締役社長	廣瀨全洋
同	大成建設(株) 常務執行役員名古屋支店長	平田尚久
同	(株)中日新聞社 取締役会長	白井文吾
同	(株)中部 代表取締役社長	榑林孝尚
同	東海C S(株) 代表取締役社長	田中 猛
同	(株)トーエネック 豊橋営業所長	岡本正二
同	トピー海運(株) 代表取締役社長	竹田秀和
同	(株)名古屋銀行 取締役頭取	藤原一朗
同	名古屋鉄道(株) 代表取締役社長	安藤隆司
同	日本通運(株) 豊橋支店長	守田英司
同	本多プラス(株) 会長	本多克弘
同	(株)三井住友銀行 豊橋支店長	永楽克豪
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長	伊藤 寛
同	ユタカコーポレーション(株)取締役会長	磯村博宣
監事	豊橋信用金庫 専務理事	市川智嗣
同	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長	郷 武
同	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋営業所長	牧 眞司

相談役 豊橋信用金庫 会長

吉川一弘
(敬称略)

<メモ欄>

東三河懇話会

〒440-0888 豊橋市駅前大通3-53 太陽生命豊橋ビル2階

TEL (0532)55-5141 FAX (0532)56-0981

E-mail info@konwakai.jp

URL <https://www.konwakai.jp>